



定例記者会見資料
令和7年2月4日

「令和6年消防統計（火災・救急・119番通報）【速報値】」の公表

令和6年中の消防統計（速報値）を取りまとめましたので、次のとおり公表します。

1 火災発生状況

火災件数は87件で、前年と比較し20件（29.9%）増加しました。

火災種別では、建物火災が46件で（52.9%）最も多く、火災による死者は8人で全員が65歳以上の高齢者となっています。

ポイント

火災による死者の発生は、高齢者の割合が高くなっています。
このことから、高齢者の「逃げ遅れ」を防ぐために、「住宅用火災警報器」の更なる設置促進に取り組んでいきます。

2 救急活動状況

救急出動件数は16,032件で、前年と比較し62件（0.3%）減少しました。また、救急活動時間は、医療機関との連携強化などの取り組みにより、119番入電から現場到着までが25秒短縮し、病院収容までは1分17秒短縮しました。

ポイント

高齢化の進展により、救急需要はますます増加することが予想されます。
このことから、医療機関との更なる連携を図りながら、より迅速な救急搬送に努めてまいります。

3 119番通報状況

119番通報件数は21,524件で、前年と比較し1,084件（4.8%）減少しました。

内訳は、「救急」が15,445件（71.8%）で最も多く、次いで「問合せ・間違い・いたずら」の4,449件（20.7%）となりました。

ポイント

依然として、「問合せ・間違い・いたずら」の件数割合は、大きい状況です。
今後も市民に対し、「消防テレホンガイド」などの各種サービス利用の周知を図っていきます。

【問い合わせ先】

◆予防課：24-3941（火災） ◆警防課：23-7061（救急）
◆指令課：22-0123（指令）